

修士論文（要旨）

2019年7月

中国人母親の「坐月子」における気分状態と QOL に関連する要因についての研究
—個人属性、分娩状況、「坐月子」の状況による影響—

指導 久保 義郎 教授

心理学研究科

健康心理学専攻

217J4951

王 媛

Master' s Thesis(Abstract)

July 2019

Factors Associated with Chinese mothers' moods and QOL during Zuo YueZi: Effects of
Personal Attribute, Delivery Situation and customs of Zuo YueZi

WANG YUAN

217J4951

Master' s Program in Health Psychology

Graduate School of Psychology

J.F. Oberlin University

Thesis Supervisor: Yoshio Kubo

目次

第1章：「坐月子」について	1
1.1 「坐月子」の背景.....	1
1.2 中国における「坐月子」現状.....	3
第2章：研究背景と意義	5
2.1 国内外の研究現状.....	5
第3章：目的	7
第4章：研究方法	8
4.1 調査施設.....	8
4.2 調査対象.....	8
4.3 調査期間.....	8
4.4 調査方法.....	8
4.5 測定尺度.....	8
4.6 分析方法.....	10
4.7 倫理的配慮.....	10
第5章：結果	12
5.1 対象者の属性.....	12
5.2 産婦の分娩状況.....	14
5.3 「坐月子」の状況.....	17
5.4 分析結果.....	20
第6章：考察	30
6.1 本研究で明らかになったこと.....	30
6.2 先行研究との対比.....	33
6.3 産後うつとメンタルヘルス.....	36
6.4 EPDS と POMS 「抑うつ・落ち込み」の差異について.....	37

6.5 本研究の限界と今後の課題.....	37
-----------------------	----

謝辞

参考文献

付録

1. 研究背景

中国では古くからの風習として、産後 1 ヶ月の間は「月子」(げつし)といい、その期間に「坐月子」(ざげつし)を行うことになっている。伝統的な方法によると、「坐月子」の1ヶ月は、母子ともに家から出ることが禁じられている。水に触れてはならず、家事はもちろん、洗髪したり、シャワーを浴びたりすることもできないし、さらには、窓を開けることも許されない。そのため、「坐月子」の女性は髪を短く切っているにもかかわらず、体臭のすることが多い。冬ならまだ我慢できるが、夏の暑い時、身体を冷やさないようにエアコンも禁止される。これも風に当たってはいけない理由と同じで、いろいろな病気になってしまうという理由であるが、大変辛い。

しかし、現代の中国は現代化が極めて進んでおり、女性も新しい時代に向けて歩んでいるにもかかわらず、先に述べたような方法が依然として最も伝統的として守られている。このようなことから現代の中国では、女性がどのように「坐月子」(産褥期)期間を過ごすのが科学的に望ましいのかについて、ますます話題になっている。

2. 目的

「坐月子」は本来母体の早い回復を意図したものであるが、かえって母親の QOL を低下させている恐れも考えられる。したがって、産婦「坐月子」の生活環境と保健指導などには、中国の現状に合ったものが必要である。そこで、本研究においては、「坐月子」における産婦を対象者として、産後生活の現状において、産婦の心理状態、および QOL に関連する要因を明らかにすることを目的とする。

3. 方法

中国の陝西省榆林市第一医院の婦産科で、2019 年 1 月から新生児 1 ヶ月健診に来院した母親で、研究協力に応じた女性 232 名に質問紙を配布し、アンケート調査を行った。質問紙内容は、個人属性、分娩状況、坐月子の状況、SF-8、EPDS および POMS であった。得られたデータについて、SF-8、EPDS、POMS を目的変数とし、個人属性、分娩状況、坐月子の状況をそれぞれ説明変数として重回帰分析(強制投入法)を行った。分析は SPSS25.0 を用いた。

4. 結果

1) 個人属性項目

①SF-8

「年齢」($\beta = .15, p < .05$) が有意な正の影響を示していた。

②EPDS

「年齢」($\beta = -.16, p < .05$) が有意な負の影響を示していた。

③POMS

「緊張・不安」に対しては、「年齢」($\beta = -.15, p < .05$) が有意な負の影響を、「家庭の月収」($\beta = .21, p < .01$) が有意な正の影響を示していた。

「活気」に対しては、「職業の有無」($\beta = -.15, p < .05$) が有意な負の影響を、「家庭の月収」($\beta = .18, p < .01$) が有意な正の影響を示していた。

「抑うつ・落ち込み」に対しては、「年齢」($\beta = -.15, p < .05$) が有意な負の影響を、「職業の有無」($\beta = .14, p < .05$)、「家庭の月収」($\beta = .20, p < .01$) が有意な正の影響を示していた。

「疲労」に対しては、「年齢」($\beta = -.16, p < .05$) が有意な負の影響を、「家庭の月収」($\beta = .18, p < .01$) が有意な正の影響を示していた。

「怒り・敵意」に対しては、「年齢」($\beta = -.14, p < .05$) が有意な負の影響を、「家庭の月収」($\beta = .22, p < .01$) が有意な正の影響を示していた。

「混乱」に対しては、「家庭の月収」($\beta = .22, p < .01$) が有意な正の影響を示していた。

2) 分娩状況に関する項目

①SF-8

「今までの赤ちゃんの健康状態」($\beta = .26, p < .01$)、「産褥期産婦と赤ちゃんに関する知識とスキルの理解程度」($\beta = .28, p < .01$) が有意な正の影響を示していた。

②POMS

「活気」に対しては、「今までの赤ちゃんの健康状態」($\beta = .18, p < .05$)、「産褥期産

婦と赤ちゃんに関する知識とスキルの理解程度」 ($\beta = .20, p < .01$) が有意な正の影響を示していた。

3) 「坐月子」の状況に関する項目

①SF-8

「産後に専門的な人の指導をうけた程度」 ($\beta = .33, p < .01$)、「坐月中に外出自由度」 ($\beta = .18, p < .01$) が有意な正の影響を示していた。

②EPDS

「産後に専門的な人の指導をうけた程度」 ($\beta = -.16, p < .05$)、「坐月中に外出自由度」 ($\beta = -.16, p < .05$) が有意な負の影響を示していた。

③POMS

「緊張・不安」に対しては、「坐月子中に洗髪した回数」 ($\beta = .20, p < .05$)、「坐月子中に1日家で動けた時間」 ($\beta = .15, p < .05$) が有意な正の影響を示していた。

「活気」に対しては、「産後に専門的な人の指導をうけた程度」 ($\beta = .32, p < .01$)、「坐月子中に1日家で動けた時間」 ($\beta = .15, p < .05$)、「坐月中に外出自由度」 ($\beta = .16, p < .05$) が有意な正の影響を示していた。

「抑うつ・落ち込み」に対しては、「産前に洗髪禁止についての思い」 ($\beta = .15, p < .05$)、「坐月子中に洗髪した回数」 ($\beta = .18, p < .05$) が有意な正の影響を示していた。

「疲労」に対しては、「坐月子中に洗髪した回数」 ($\beta = .17, p < .05$)、「坐月子中に1日家で動けた時間」 ($\beta = .16, p < .05$) が有意な正の影響を示していた。

「怒り・敵意」に対しては、「坐月子の場所」 ($\beta = .13, p < .05$)、「坐月子中に洗髪した回数」 ($\beta = .25, p < .01$)、「坐月子中に1日家で動けた時間」 ($\beta = .14, p < .05$) が有意な正の影響を示していた。

「混乱」に対しては、「坐月子中に洗髪した回数」 ($\beta = .18, p < .05$)、「坐月子中に1日家で動けた時間」 ($\beta = .16, p < .05$) が有意な正の影響を示していた。

考察

1) SF-8、すなわち、QOL については、①年齢が高く、②赤ちゃんが健康であり、③産婦が出産に関する知識とスキルがあり、④専門的な指導をうけ、⑤外出自由度が高い場合に高いことが分かった。

2) EPDS、すなわち、産後うつに関しては、①年齢が高く、②専門的な指導をうけ、③外出の自由度が高い場合に低いことが分かった。

3) POMS、すなわち、気分状態については、以下のことが分かった。

「緊張・不安」については、①年齢が若く、②家庭の収入が高く、③産後洗髪した回数が多く、④産後動けた時間が多く、⑤外出自由度が低い場合に高いことが分かった。

「活気」については、①職業があり、②家庭の収入が高く、③赤ちゃんが健康であり、④産婦が出産に関する知識とスキルがあり、⑤専門的な指導をうけ、⑥産後動けた時間が多く、⑦外出自由度が高い場合に高いことが分かった。

「抑うつ・落ち込み」については、①年齢が若く、②職業なし、③家庭の収入が高く、④産前に洗髪禁止が好き、⑤産後洗髪した回数が多い場合に高いことが分かった。

「疲労」については、①年齢が若く、②家庭の収入が高く、③産後洗髪した回数が多く、④産後動けた時間が多い場合に高いことが分かった。

「怒り・敵意」については、①年齢が若く、②家庭の収入が高く、③月子センターで坐月子を行い、④産後洗髪した回数が多く、⑤産後動けた時間が多い場合に高いことが分かった。

「混乱」については、①家庭の収入が高く、②産後洗髪した回数が多く、③産後動けた時間が多い場合に高いことが分かった。

以上から、「坐月子」中の母親の気分状態と QOL に関連する要因を、生活現状から明らかにすることができた。そして、本研究の結果に従い、坐月子の状況に対して、産後うつ予防・改善が優先的な課題であると考えられた。QOL の向上、気分状態の改善もあらためて検討する必要があるだろう。

参考文献

- Beck, C.T. & Gable, R.K. et al (2000). Postpartum depression screening scale: Development and psychometric testing. *Nursing Research*, 49(5):272-281.
- 陳春新 · 蔣樹芬 · 劉佩等 (2014). 初产妇产后抑郁的发病情况及其影响因素的研究 *中国现代医生*, 52(4):1-3.
- 陳洪波 (2013). 家庭支持对初产妇产后康复及育婴效果的影响 *右江医学*, 41(6):895-896.
- 陳起燕 · 陳列平 · Joanna Raven · 張榮蓮 · 楊閩燕 (2018). 产妇产子行为和传统习惯及其影响因素 *中国妇幼保健*, 23(1):3744-3747.
- 陳自明 (1237). *妇人良方大全一坐月门* (1949年排印版).
- 崔丽霞 · 李少双 · 董红英 (2009). 产后心理障碍的护理干预 *现代医院*, 9(7):92-94.
- 戴钟英 · 蒋式时 (2005). 重视妊娠与产褥期妇女的精神疾病的诊治和研究工作 *中华妇产科杂志*, 38(12): 721.
- 杜芳琴 (1994). 生育文化的历史考察 三联书店, 152.
- 杜芳琴 (1998). 中国社会性别的历史文化追踪 天津社会科学院出版社.
- Dunning M, Giallo R (2012). Fatigue, parenting stress, self-efficacy and satisfaction in mothers of infants and young children. *Journal of Reproductive and infant Psychology*, 30(2):145-159.
- 方积乾 · 郝元涛 (1999). 世界卫生组织生活质量量表中文版的信度与效度 *中国心理卫生杂志*, 13(4):203-205.
- 方舟 (2014). 坐月子是種最具中国特色的传统陋习 *健康管理*, 5:51-52.
- 福原 俊一 · 鈴嶋 よしみ (2004). SF-8 日本語版マニュアル:NPO 健康医療評価研究機構, 京都.
- Groupt W. (1993). Study protocol for the World Health Organization project to develop a Quality of Life assessment instrument (WHOQOL), *Quality of Life Research*, 2(2):153-159.
- 国家卫生和计划生育委员会 (2013). 2013 国家卫生和计划生育统计调查制度 中国协和医科大学出版社, 4(3):1-17.
- Hammoudeh W & Mataria A & Wick L, et al (2009). In search of health: quality of life among postpartum Palestinian women *Expert review of pharmacoeconomics & outcomes research*, 9(2):123-132.
- 郝元涛 · 方积乾 (2003). 生存质量测定量表等价性评价研究 *中国行为医学科学*, 12(3):338-340.
- 何美娟 (2012). 无痛分娩对提高产妇产后生活质量的影响 *中国乡村医药*, 19(5):36-37.6-806.
- 侯永梅 · 胡佩诚 · 张咏梅 (2012). 初产妇产褥期的生活质量评估及影响因素 *中国妇幼保健*, 27(8):1143-6.
- 黄正昕 (2012). 巴蜀汉族传统育俗研究 四川师范大学中国少数民族语言文学修士论文.
- 亀井 睦子 · 増子 恵美 · 蛭田 由美 (1999). 産後の母親の不安の変化と要因—STAYの結果から—*母性衛生*, 40(2):325-331.
- 昆野 裕香 · 柳原 真知子 · 神林 玲子ら (2002). 退院後 1 週間以内の褥婦の不安, *母性衛生*, 43(2):346-356.
- Lee DT (2001). A psychiatric epidemiological study of postpartum Chinese women. *American J of Psychiatry*, 158-220.

- Lee DT · Yip SK · Chiu HF, et al (1998). Detecting postnatal depression in Chinese women. Validation of the Chinese version of the Edinburgh Postnatal Depression Scale. *The British Journal of Psychiatry*, 172(5):433-437.
- 李鲁 (2012). 社会医学 人民卫生出版社.
- 廖大琪 (2014). 衡阳市产妇产后抑郁症发生的现状及其影响因素研究 南华大学硕士论文.
- 李密密 · 唐青峰 · 张国琴等 (2016). 我国产后抑郁评估量表的应用现状 中国心理卫生杂志, 30(6):418-423.
- 李娜 (2014). 围生期健康教育对孕产妇生活质量及抑郁症状的影响 中国现代医生, 52(28):107-109.
- 李向云 · 玉洁贞 · 张惠兰等 (2006). 产褥期妇女生命质量评价及其影响因素 中国心理卫生杂志, 20(2):89-92.
- 李玉洁 · 吕修华 · 薛伟彩等 (2003). 新生儿性别对产妇心理和生理的影响 中国煤炭工业医学杂志, 6(1):58-59.
- 李玉珍 (2006). 50%浓度笑气无痛分娩对产妇泌乳素及新生儿 Apgar 评分的影响 吉林医学, 27(7):80.
- 中田 覚子 · 島袋 香子 (2016). 妊娠初期の日本人妊婦における Quality Of Life の実態調査—WHOQOL-26 を用いて— 母性衛生, 57(1):131-137.
- 野原 真理 (2014). 妊産婦の育児、健康状態および QOL に対する親族によるサポートの影響 小児保健研究, 73(1):10-20.
- 聂元龙 (2012). 山西民俗摭拾 山西人民出版社, 180-205.
- 岡野 禎治 (2007). 妊娠・産褥期—細菌の予防・介入に関する知見— 日本臨床, 65(9):1689-1693.
- 大村 いつみ (2003). 妊娠・産褥期における母性意識と抑うつ状態について 名古屋市立大学看護学部紀要, 3:23-27.
- 齐玉梅 · 王生锋 (2007). 产后访视提高产褥期妇女生命质量的研究 现代中西医结合杂志, 16(17):2441-2442.
- 錢耀荣 · 晏晓颖 (2013). 中国产后抑郁发生率的系统分析 中国实用护理杂志, 29(12):1-3.
- 坂梨 薫 · 水野 祥子 · 勝川 由美 · 加藤 千晶 (2015). 1ヶ月児を持つ母親の精神的健康と育児生活の実態 関東学院大学看護学雑誌, 2(1):1-9.
- 佐藤 喜根子 (2003). 妊産褥期にある女性の不安因子の分析 日本助産学会誌, 16(3):148-149.
- 下平 由加 (2004). 褥婦への効果的な退院指導の検討—出産から1ヶ月間のストレスとの関係— 看護教育研究集録, 29:220-226.
- 孫舒畅 (2016). 家庭跟进式护理模式对初产妇生活质量的影响 护理研究: 下旬版, 29(6):2002-2003.
- Symon A. (2002). *Postnatal Quality of Life Assessment: Introducing the Mother Generated Index*, 29:1.
- 師玉英 (2010). 产褥期妇女保健分析研究 健康研究, 47(28):127.
- Torkan B & Parsay S & Lamyian M, et al (2009). Postnatal quality of life in women after normal vaginal delivery and caesarean section BMC pregnancy and childbirth, 9(1):4.
- 常盤 洋子 (2003). 出産体験の自己評価が産褥早期の母親意識に及ぼす影響 筑波大学人間総合科学研究科博士論文, 66-82.
- Tsuchiya M, Mori E, Iwata H, et al (2015). Fragmented sleep and fatigue during

- postpartum hospitalization in older primiparous women. *Nursing & Health Sciences*, 17, 17-76.
- 吳丽萍 · 胡晓斐 · 王叶飞 (2012). 初产妇母亲角色适应与应对方式及社会支持的相关性研究 *中华护理杂志*, 47(5):410-413.
- World Health Organization Birth (1998). *World Health Organization Postpartum care of the mother and newborn : a practical guide : report of a technical working group*. 26(4):255-258.
- 吳琮 (2015). 围产期个性化护理干预对初产妇分娩质量及产后生活质量的影响 *中国卫生标准管理*, 6(27):260-261.
- 徐自甫 (1556). *古今医统大全*, 卷 8-92.
- 謝玉萍 (2005). 金门传统生育礼俗之探讨 铭博大学修士论文.
- 吉田 智子 (1994). 育児期における社会的支援に関する研究 国立公衆衛生院特別演習集録, 103-117.
- 張淞文 (1995). 生男生女对妇女身心健康的影响 *中国妇幼保健*, 10(2):101-101.
- 張要珍 · 张延丽 · 卢明 · 焦锐(2010). 不同分娩方式对产后抑郁发病率的影响及分析 *山西中医学院 太原*, 030024.
- 鄭秀霞 (2006). *妇产科护理学* 北京人民卫生出版社, 95.